

計画事業番号	00282	事務事業名	スポーツ大会出場支援事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4845
--------	-------	-------	--------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	スポーツ大会出場費助成規則				
事務事業開始年度	昭和61年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 8 節) スポーツ活動の推進						
	(施策 2 ) 競技スポーツの振興						
2 対象	市民						
3 目的と内容	市民の自発的なスポーツ活動の振興を図るため、国際、全国または全道規模のスポーツ大会に出場する選手等に対し、費用の一部を助成する。						
4 実施内容 (手段)	28年度まで	全道・全国等のスポーツ大会に出場する者や団体に対して出場費の一部助成を行った。					
	29年度	昨年度と同様であるが、全道等規模のスポーツ大会出場費の助成を行う。					

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
スポーツ大会出場費の助成	スポーツ大会出場費の助成 助成額 1,894千円 全国大会 90人 全道大会 50人	スポーツ大会出場費の助成		スポーツ大会出場費の助成		スポーツ大会出場費の助成	

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,894		1,500		1,500		1,500	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	1,894		1,500		1,500		1,500	
		一般財源	0		0		0		0	
	① 合計	1,894		1,500		1,500		1,500		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			3,574		3,180		3,180		3,180	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
活動指標	①助成人数	人	100	140	100		100		100	
		目標値								
		実績値								
	②	目標値								
	実績値									
	③	目標値								
	実績値									
	④	目標値								
	実績値									
成果指標	①	目標値								
		実績値								
	②	目標値								
	【指標の定義(算式等)】	実績値								
	③	目標値								
	【指標の定義(算式等)】	実績値								

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	大会出場費の一部助成については、スポーツ振興に大きく寄与していると同時に、貢献度は大きい。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	本事業の実施により、大会出場で得られた経験や技術は市内の競技力向上に大いにつながる。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	近年の少子化や競技種目の多様化などにより、助成対象等の見直しを行った。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	コスト削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---